

令和3年1月7日

令和2年度 3学期始業式

倉敷市立西中学校 松本一郎

みなさん、明けましておめでとうございます。令和3年の幕が開きました。世界は、まだまだ新型コロナウイルスの影響を大きく受けています。全国の感染者が6000人を超えたと今日の新聞に載っていました。だれが、いつ感染してもおかしくない状況が続いています。病気で苦しんでいる人、病気が治った人が、つらい思いをすることがないように、みなさんの優しさ発揮するときは今です。改めて、よろしくお願いします。また、本年の夏には、延期された東京オリンピック・パラリンピックが、コロナを克服した人類の祭典として開催される予定です。できることなら、それまでには、みんなが気兼ねなく人々と交流できる世の中が来るものと期待しています。それまで、皆さんには、マスク着用、三密回避、換気、手洗いなどの予防対策をもう一度確認し、学校における新しい生活様式に協力してほしいと思います。

さて、みなさんは、西中学校の一番の良さ・強みは何だと思えますか。私は、一人ひとりの生徒のすばらしさとその生徒数の多さだと思えます。人は一人ひとり、その姿や考え方も違います。得意な分野も苦手な分野も違います。たとえ違いはあっても、一人ひとりが等しく尊重されることに違いはありません。そのことを「多様性の尊重」と言います。西中の多様性は、みなさん一人ひとりにとって幸せな学校を実現する大きなエネルギーの源だと思えます。

みなさんには、得意なものがありますか？好きなものはありますか？すでにある人は、すばらしい努力を積み重ねている人だと思えます。まだ、見つかっていない人も、必ずあなたには光り輝く花が隠されているはずです。その花は、あなたの将来の夢であり、希望であり、なりたい自分自身の姿でもあります。

人は、思い描いた花を咲かせるといいます。先生方は、その花を咲かせる手伝いはできますが、みなさん一人ひとりの花に水と光を与えることができるのは、皆さん自身です。自分がやりたい自分の花を見つけ、大きく咲かせる一年になるよう願います。

ただ、人は自分自身のよさに、自分ではなかなか気が付かないものです。そこで、クラスメイトの、先輩の、後輩の、チームの、家族の、先生のよさを見つけてください。他の人のよさを見つける姿勢は、相手に反射し、いくらでも自分に返ってきます。これを「ミラーの法則」と言います。（「スラムダンク勝利学」辻秀一著；集英社インターナショナル）

西中には、1000人近い生徒と先生がいますから、仮に1000人が1000人のよさを見つければ、 $1000 \times 1000 = 1,000,000$ 個（100万個）のよさがあふれることとなります。これこそが、西中の多様性の価値であり、みんな一人ひとりが幸せになれる学校の大きなエネルギーだと思えます。

この大きなエネルギーをもとに、3年生は、残り少ない中学校生活、進路の実現に向けて力を合わせて頑張ってください。1,2年生は、次の学年に向けて、最高の準備をしてください。明るさ、元気さ、前向きさ、優しさ、そして、倉敷ナンバーワンの西中学校を実現できる1年になることを心から期待しています。